

# 第3期 鹿部町教育大綱

(計画期間 令和6年度～14年度)

令和6年4月

北海道鹿部町

## 1 経緯

平成27年4月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されたことを受け、首長と教育委員会で構成する「総合教育会議」を設置し、平成28年1月に教育施策の今後の本町の教育、学術及び文化等の推進に関する総合的な施策となる「鹿部町教育大綱」を策定しました。

第1期計画期間終了後、令和2年4月には「第2期鹿部町教育大綱」を策定しました。

今回、令和6年度末で第2期計画期間の終了を迎えることから、令和6年3月に開催した鹿部町総合教育会議で「第3期鹿部町教育大綱」を策定しました。

## 2 役割

この大綱は、町長と教育委員会が、教育、文化、スポーツなどの振興に関する総合的な施策について基本的な認識を共有し、連携を密にして、施策を推進することを目的としています。

## 3 対象期間

この大綱の対象期間は、第6次鹿部町総合計画との整合を図るため、令和6年度から令和14年度までの9年間とします。

なお、社会情勢等の動向などにより適宜内容を見直すこととします。

## 4 位置付け

この大綱は、本町の教育における包括的な目標となるものであり、町長と教育委員会は、この大綱の示す目標や方向性を踏まえ、幼児教育や義務教育、社会教育、文化、スポーツなどの施策を推進していきます。

## 5 大綱の体系

基本目標 生きる力を育み、だれもが学べる鹿部の教育		
<b>基本方針1</b> 新たな社会を生きる力を育む教育の推進	<b>基本方針2</b> 子どもが安心して学べる教育環境の整備・推進	<b>基本方針3</b> 潤いのある生涯学習の推進
<b>取組の方向性</b> (1) 鹿部に学び、鹿部で育み、鹿部を創る教育の推進 (2) 将来を担う子どもの可能性を引き出す学びの創造 (3) 自覚と責任感を培う主権者教育の推進 (4) 豊かな心を育む教育の充実	<b>取組の方向性</b> (1) チャレンジを応援する仕組みづくりの推進 (2) 教職員の資質向上と働きやすい環境の整備 (3) ICT教育環境の整備 (4) 組織的連携を可能とする「チーム鹿部」の機能強化	<b>取組の方向性</b> (1) 多彩な学習機会の提供 (2) 社会教育を基盤とした地域づくりの好循環 (3) 郷土愛の醸成を通じた、より豊かなまちの実現 (4) 「健康」「生きがい」「仲間」をつくる文化・スポーツの発展

## 基本方針1 新たな社会を生きる力を育む教育の推進

### 取組の方向性

#### (1) 鹿部に学び、鹿部で育み、鹿部を創る教育の推進

鹿部で育つことが子どもたち一人ひとりの心の中で大きな意味を持つように、鹿部の歴史や自然、文化、産業を学ぶ機会を充実させるとともに、食育を通じて、鹿部の食文化や地産地消の取組を理解することで、自然の恵みや勤労の大切さ、感謝の気持ちを培い、「ふるさと鹿部」に愛着を持ち、大切にすることを育み、未来の鹿部の担い手を創る教育を推進します。

#### (2) 将来を担う子どもの可能性を引き出す学びの充実

成長段階を意識した、つながりのある質の高い保育・教育を提供し、予測困難な社会をたくましく生き抜くための主体性を育み、高度な情報化社会に対応するため、情報を適切に処理し、有効に活用するための「情報活用能力」、グローバル時代に対応する「自己表現力」や「伝達力」など将来を担う子どもの可能性を引き出す学びの充実を図ります。

#### (3) 自覚と責任感を培う主権者教育の推進

将来、社会の中で協調し自立できる子どもを育成するため、世の中の出来事や地域社会の問題を自らの問題として捉え、考える力、聞く力を育み、主権者としての自覚と責任感を培う主権者教育を推進します。

#### (4) 豊かな心を育む教育の充実

個々の違いや多様性などを尊重する気持ちを養うため、互いを認め合う学びの機会を保障し、自他ともに大切にすることを育む教育の充実を図ります。

## 基本方針2 子どもが安心して学べる教育環境の整備・推進

### 取組の方向性

(1) チャレンジを応援する仕組みづくり

成功をたたえられ、失敗は学びの機会と捉えることができる、前向きにチャレンジする環境の醸成を図るとともに、子どもの強みや興味を理解し、夢や希望に向かって挑戦する子どもを学校・保護者・地域が一体となって応援する仕組みづくりを行います。

(2) 教職員の資質向上と働きやすい環境の整備

学校教育の発展を確かなものとする教職員の専門性・実践的指導力を高める研修などの充実を図るとともに、働き方改革を着実に実行し、やりがいのある働きやすい職場環境の整備を図ります。

(3) ICT教育環境の整備

地域による学びや経験に格差が生じることがないように、ICT機器を効果的に活用した「新たな学び」の環境整備を図ります。

(4) 組織的連携を可能とする「チーム鹿部」の機能強化

いじめや不登校、虐待、貧困など学校内外のあらゆる諸課題において、組織的な支援体制を構築し、支援を必要とする子どもや家庭に対して、一貫した切れ目のない支援を提供できるよう、「チーム鹿部」の機能強化を図ります。

## 基本方針3 潤いのある生涯学習の推進

### 取組の方向性

#### (1) 多彩な学習機会の提供

生涯学習の力は、無限大です。乳幼児から高齢者まで、全てのライフステージや多様性に応じて学び、楽しめる機会を増やします。また、学習を推進する人材の育成と学習の拠点となる施設の機能向上を図ります。

#### (2) 社会教育を基盤とした地域づくりの好循環

住民が学びの場に参加し（人づくり）、つながる中で（つながりづくり）地域の課題解決に向けて自ら取り組もうとする意識や意欲の向上が図られ、地域の活性化（地域づくり）につながるよう、社会教育を推進します。

#### (3) 郷土愛の醸成を通じた、より豊かなまちの実現

中央公民館や総合体育館、そして新たに目指している義務教育学校を、人と人をつなぎ、新たな文化を創造する「まちづくりのプラットフォーム」とします。郷土愛を醸成し、より豊かなまちを実現するため、鹿部が誇る観光や産業を学び、伝統文化を体験する機会を確保します。

#### (4) 「健康」「生きがい」「仲間」をつくる文化・スポーツの発展

文化活動やスポーツ活動を通して健康を維持し、生きがいを実感できる環境と機会を充実させることにより、仲間の輪が広がり、元気で笑顔あふれるまちづくりを進めます。